

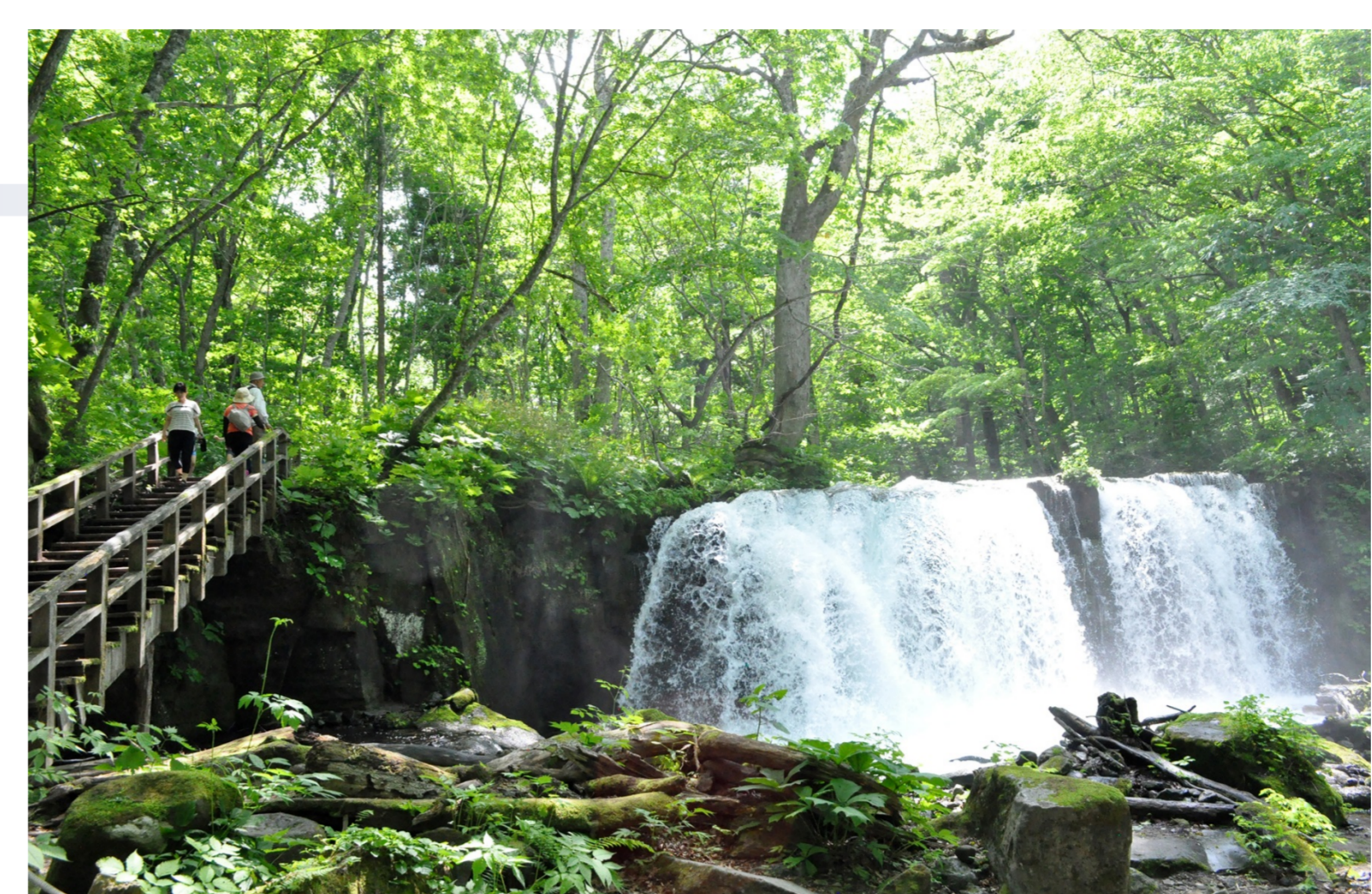


クルマを使わず静かな溪流を感じてもらうために ～奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト～

音を動機付けとした本取り組み

奥入瀬溪流は昭和11年に国立公園に指定され、年間200万人が来訪する貴重な自然環境を有し、世界に誇る国民共有の財産です。特に奥入瀬溪流は国道102号と並行して自然遊歩道が整備され、気軽に奥入瀬溪流の自然や景観に触れることができます。

また、環境省の「残したい日本の音風景100選」に選ばれ、自然や景観のみならず、川のせせらぎや鳥のさえずりの「音」を楽しめる観光地でもあります。しかし、国道102号の溪流沿いでは、多い日で4000台以上の車両が通行し、その走行音で自慢の「音」が楽しめないだけでなく、自然遊歩道の安全な散策やサイクリングの妨げにもなっています。



本プロジェクトは、この奥入瀬の地域資源である「音」を楽しむことを動機付けとし、「音」を定量的評価指標としてクルマ抑制を促した新たな観光モビリティ・マネジメントの取り組みです。

- 目的1** 溪流区間の安全性向上・環境負荷低減・音環境向上による、観光地としての魅力向上
- 目的2** 自発的な協力を促す事で、地元や道路利用者の意識醸成を図る

取り組みの概要（平成29年度）

【実施区間及び日時】

- 国道102号の奥入瀬溪流区間約10kmの車両進入自粛を要請
- 平成29年 9/2（土）～3（日） 10:00～13:00

【ターゲット】

- マイカーで来訪する観光客
- 国道を通過する業務交通の貨物車

【マイカー来訪者へのインセンティブ】

1. 無料駐車場の整備：路線バス(通常料金)に乗り換えての散策を促す
2. 高校生ボランティアガイド：路線バスに奥入瀬溪流の高校生ガイドが同乗しガイドサービスを実施
3. 参加者特典：商品割引等

【コミュニケーション手法】

- 「せせらぎ音を守る」ことを動機付けとし、道路情報板や看板、新聞広告やラジオ等のマスメディアなど、できる限りの周知PR活動にて、マイカーでの来訪/業務貨物車の通過の自粛を要請

▼平成29年度奥入瀬せせらぎ体感プロジェクトチラシ



▼プロジェクトイメージ



▼溪流区間への看板設置



▼イベント当日のラジオ番組出演



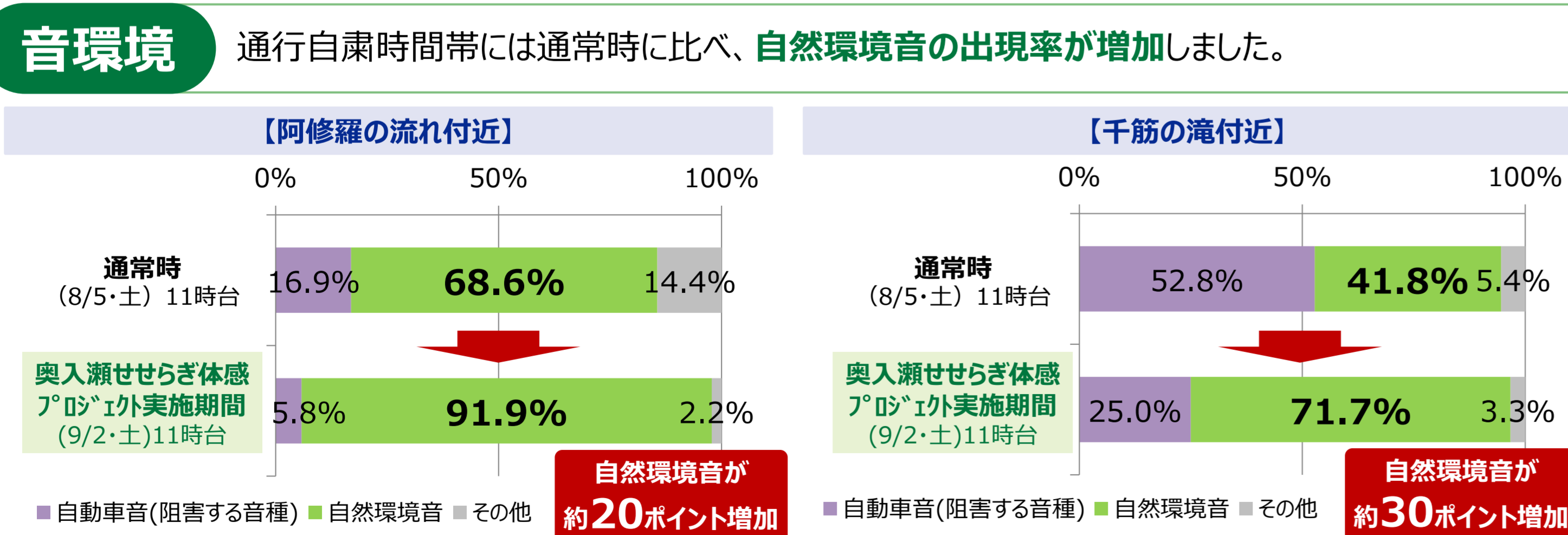
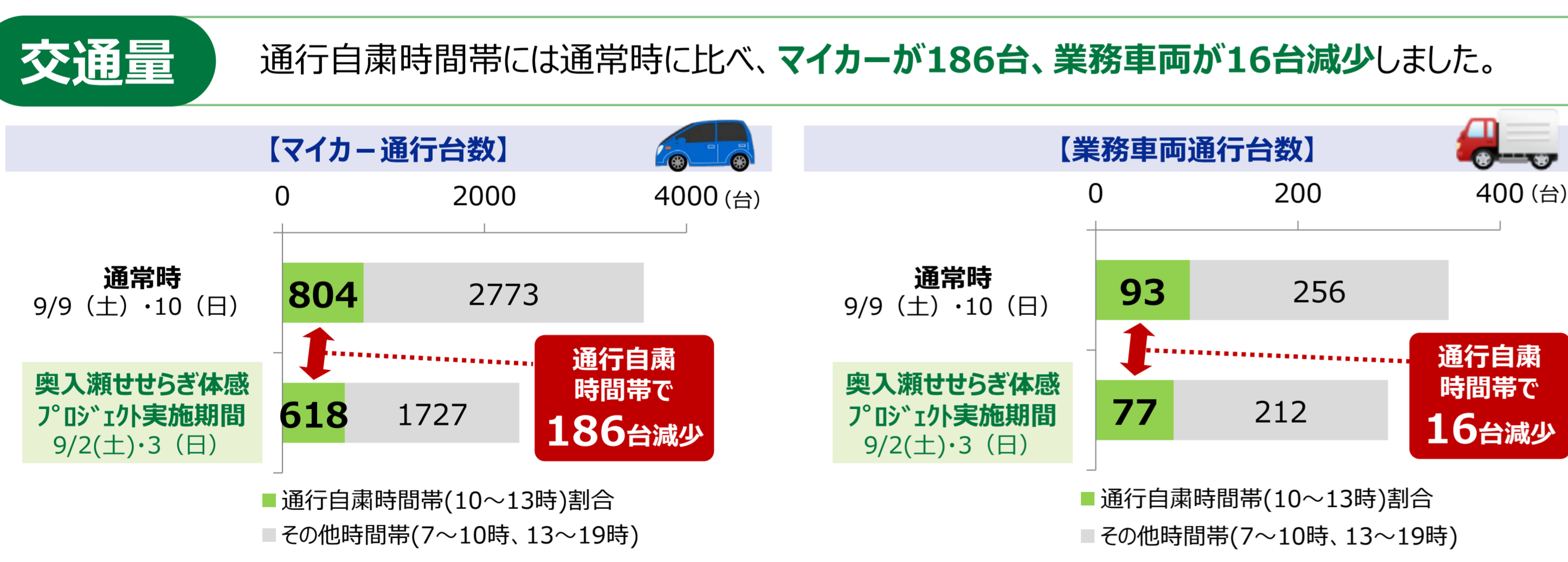
▼十和田西高生によるボランティアガイド



得られた効果

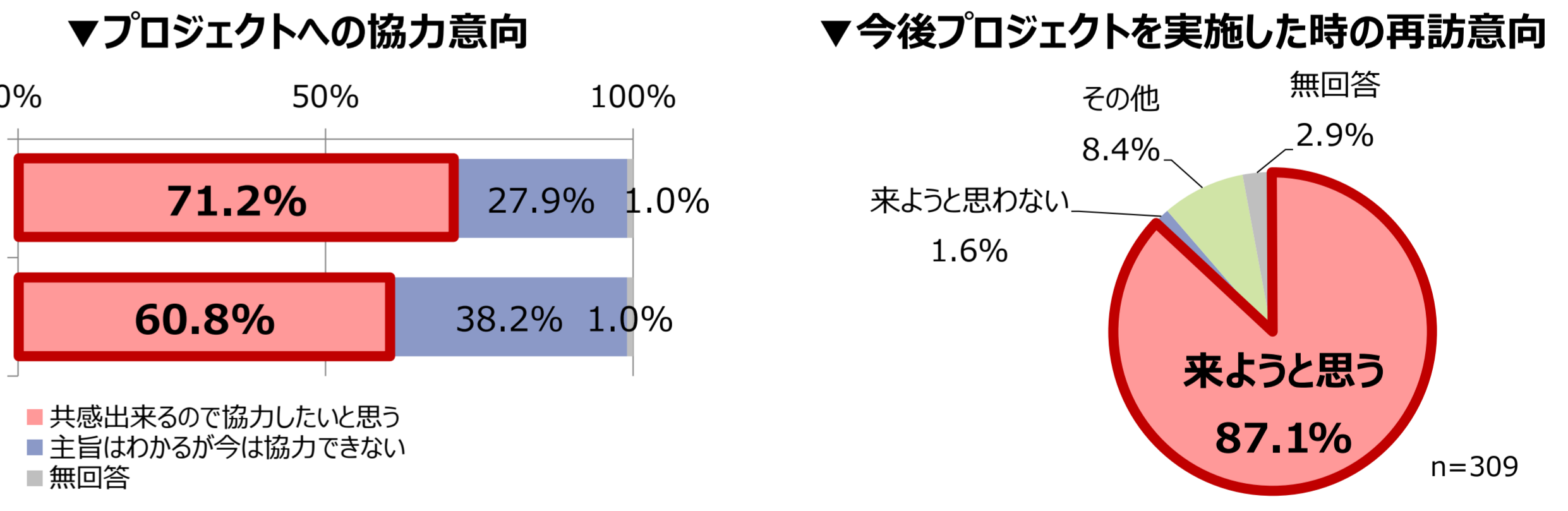
マイカーから路線バスへの乗り換えた参加者は74人でした。各種調査結果による本プロジェクトの効果検証結果の概要は以下の通りです。

溪流区間通行車両は減少、奥入瀬溪流の音環境も向上



プロジェクトへの協力意向は県内外共に6割以上

- ・プロジェクトへの協力意向は県内外共に6割以上となっており、今後のプロジェクト実施時の再訪意向も高くなっています。
- ・自由意見でも、約半数の方から実施に賛同するご意見をいただきました。

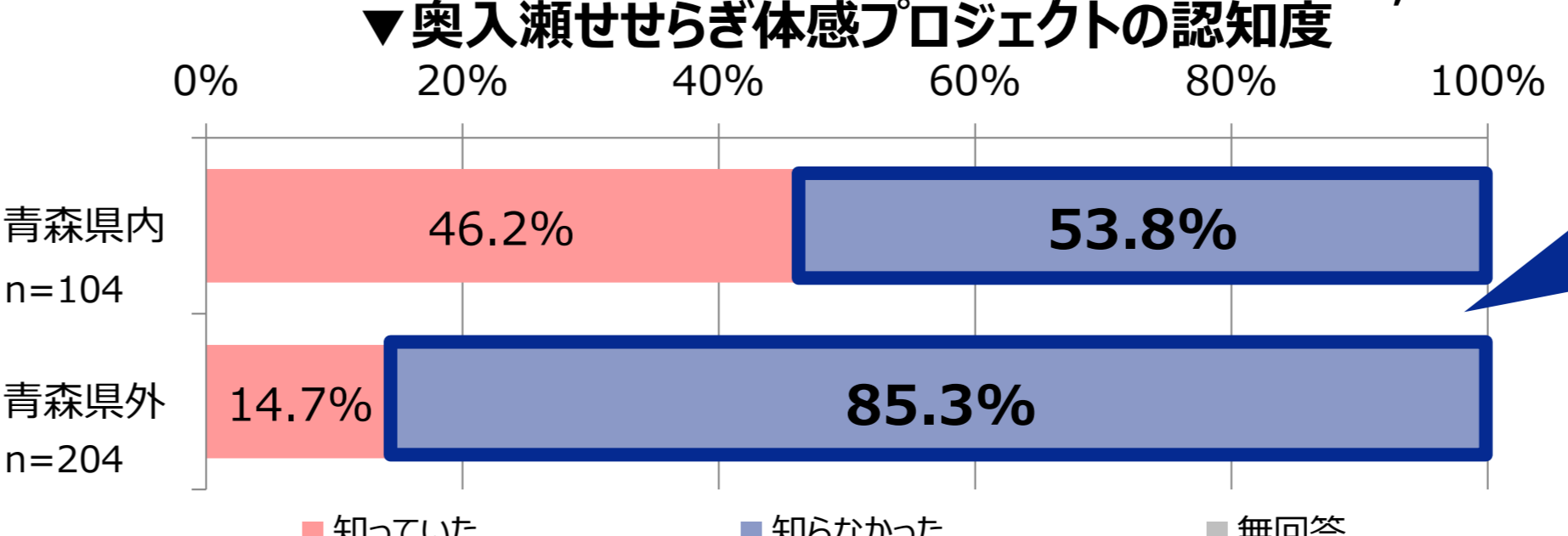


分類	意見数	主なご意見・ご要望 (抜粋)
実施に賛同する意見	83	このようなプロジェクトを充実させて自然を守る事に繋がれば良いと思うので共感出来ます。交通規制は必要だと思う今回のプロジェクトには賛同する。自然の保護と景観を良くすると思うので賛同します。バス又は自転車を利用し楽しめるから良い。今回初めて青森に来たが、このような企画があったら次回も来てみたい。
実施方法・内容に関する意見	40	季節を変えてやってみては(自主規制の)距離が長いので、もっと短くしては車の止め場所を分かり易くしてほしい、止める場所をもっと確保してほしい。歩ける人は歩けば良いが、身障者や年齢的に歩けない人もいて配慮してほしい。
周知に関する意見	29	とても良い企画だと思うがPRが足りないのでは。都会では山歩きがブームなのでPRすればもっと来ると思う。ここに来るまで知らなかったのでTV、ネットでもっとPRすべき。
その他意見	26	交通手段が難しくなるのでは? 良いと思うが全面規制はやめてほしい。

今後の展開

本プロジェクトによる効果が確認できた一方で、プロジェクト参加者、奥入瀬溪流来訪者へのアンケート調査結果等からは、広報不足等の様々な課題も確認できました。平成29年度で明確になった課題を踏まえつつ、有識者や市民らで構成される奥入瀬溪流活用検討委員会、青森県庁、十和田市等と連携しつつ今後も展開します。

- 課題1** 多くの方の目に触れ、共感される広報
- 課題2** 利便性の高い代替交通の確保
- 課題3** “焼山側”に偏るプロジェクト参加者を“子ノ口側”へ



多くの方の目に触れ、共感される広報を行うことで、プロジェクトの認知度向上を図る必要があります。

【問い合わせ】
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所
担当：調査第二課 須藤(すと)う
017-734-4570 (直通)
sutou-s82ac@milit.go.jp